

令和4年度第2回摂津市健康づくり推進協議会要点録

日時 令和5年3月2日（木）午後2時～4時
場所 上下水道部庁舎 2階 大会議室
出席者 委員12名（うちWEB参加2名）、2名欠席
傍聴人 なし

議題

- 1 会長及び副会長の選出について
- 2 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について
事務局より説明（資料1、2、3）

ご意見・ご質問

がん検診の申し込み方法についてどのようなツールがあるのか。またアクセスしやすい工夫については如何か。

【回答】電話やメールでの対応のほか、申し込みにつながるQRコードなどを活用し、アクセスしやすい工夫をしています。

ご意見・ご質問

メタボリックシンドロームの該当者のデータがあったが、受診率が低いとデータの不確実性が疑問になる。特定健診の受診率やその推移はどのようになっているのか。

【回答】令和2年度の特定健診の受診率は、法定報告値で25.9%です。新型コロナウイルス感染症の影響で低下しましたが、直近の令和3年度の法定報告値は30.3%とコロナ前の状況に戻りつつあります。

ご意見・ご質問

健都において、市民を対象に体験してもらう新しい取り組みをしているが、リスクを伴うものなど、審査はどのようにしているのか。

【回答】現在まで、市民を対象にした実証事業は、計4件となっていますが、現段階では、非侵襲性のもののみ承認しています。しかし、今後、リスクを伴うような実証事業の申し出が今後ある可能性があることから、今後、令和5年度から実証事業の相談窓口が一元化されるにあたり、どういう基準で申請を受け付けるか等の基準を設ける必要があるのではないかと考えています。その点については、新たな機構と共に検討しているところで、明確なものができたら、お示しさせていただきます。

ご意見・ご質問

クックパッドや健都サポーターを募集するにあたって、LINEを活用するなど、若い人たちもごく普通に使っているツールを使って様々な周知をしているが、摂津市での取り組みは如何か。

【回答】摂津市におきましても、LINEの公式アカウントを活用し、市内で行われる講演会やいろいろなイベント等広く発信をしております。

ご意見

市内の小中学校で、国循と連携し、小学生とその保護者を対象に生活習慣や運動習慣、食習慣の大切さを意識してもらい取り組みをした。小学生が対象になるため、血圧などの話題から入るのではなく、運動会やマラソン大会という機会に「足が速くなりたい」「少しでも速く走れるようになりたい」という子供の純粋な気持ちから、足を速くするためには「生活習慣・運動習慣・体をつくる食習慣が大事」というメッセージを伝える取り組みであった。子どものみならず、ご家族も一緒に意識変容を推進できるよう、継続して実施していきたい。

ご意見・ご質問

ウォーキングマップの配布先はどこか。また、ホームページからダウンロードできるようになっていればよいと思うが如何か。

【回答】ウォーキングマップは市役所窓口、コミュニティプラザ、別府コミュニティセンター、新鳥飼公民館、市内体育館に配架しております。また、健康まつりや明和池公園での秋フェスなどのイベントでも配布しました。ホームページでもアップしており、10コースはもちろん以前のコースマップも掲載しております。

ご意見・ご質問

クックパッドについてはすごく良いと感心した。一方、内容が離乳食普通食の並びがバラバラしているので統一して見やすくするとよいし、市民からの投稿を入れてもよいと思う。

【回答】クックパッドはいろいろ掲載するメニューが増えるほど煩雑感が出るため、離乳食や健康づくりなどカテゴリー別に分けてユーザーが見やすいようにしております。市民の方からの投稿については、今後、検討してまいります。

ご意見・ご質問

健都について、まだまだ一般の市民には浸透していないのが現状だと思う。せっかく摂津市がこんなすごい街になっているのだから、もっと一般市民に分かってもらえるように広めていただきたい。

【回答】健都については、令和元年の国立循環器病研究センターの移転以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、産学官民連携がなかなか進まない状況がありました。現在は徐々に健都における産学官民の連携の取組が進みつつあるため、摂津市としまして、「健都って何？」という市民のお声に対し、取組みの情報をより広く発信していきたいと思えます。

ご意見・ご質問

クックパッドを紙媒体で配情報発信していきたいとのことだが、配架する場所は食材を買いに来る人が手に取りやすい場所などの工夫はあるのか。

【回答】スーパー等は、一番『食』を意識しているタイミングで見ただけのチャンスだと思っていますが、今のところアプローチができていないところが課題です。今後は、保健所と連携し、市内のスーパーなどに情報を提供できるよう進めてまいります。

<その他情報提供>

事務局より説明（資料4、5、6）

ご意見・ご質問

脈波測定の数値など、市民に目に見える形でデータを渡すことは、健康意識につながっていくと思う。ハイリスクになる前アプローチについて何か新しいプランはあるのか。

【回答】スーパーや大型商業施設等でも、医療機器ではない健康測定を実施しているのを見かけることがあります。摂津市としましても、気軽に健康づくりに目を向けていただくきっかけとして、活用していける取組みを企業等と連携しながら検討していきたい。

ご意見・ご質問

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の接種率について、7割を想定しているとのことだが、その根拠は何か。また、HPVワクチンについて受診勧奨の通知に、安全性や不利益についても示しているのか。安全性をしっかりとアピールしたら、安心して受けてもらえ、接種率があがると思う。

【回答】7割としている根拠については、A類の定期接種で、同じく小学校6年生を対象としている2種混合ワクチンの接種率が7割～8割で推移しているため、対象年齢が同じということで7割～8割と想定しています。

また、副反応については、国におけるさまざまな検証と海外での情報の集積による結果により、安全性が確認されたことを受け、R3年11月積極的勧奨の再開が決定されました。個別案内の送付物の中には、HPVワクチンについての説明と、子宮頸がんという病気についての情報をリーフレットに掲載しております。正しい情報を発信して接種率の向上に努めてまいります。

ご意見・ご質問

HPVワクチンを受け、健康被害が出た場合、予防接種法に基づく救済の対象となり、各市町村の責において各市町村で処理することとなっているが、摂津市は何かあった場合はどうするのか。

【回答】健康被害救済制度の相談と申請は、市でお受けします（摂津市であれば保健福祉課が窓口）。その後、市で予防接種健康被害調査委員会を開催し、医学的な知見から調査し、審査にかかる資料を整理した上で、府を通じて国（厚生労働省）へ進達する流れとなります。その後、厚生労働省の分科会である疾病・障害認定審査会で予防接種と健康被害の因果関係に係る審査し、認否が判断されます。その結果をもって、市より健康被害救済の給付をする流れとなります。